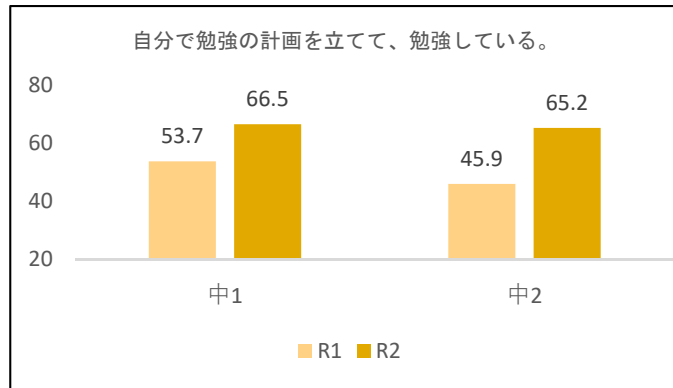
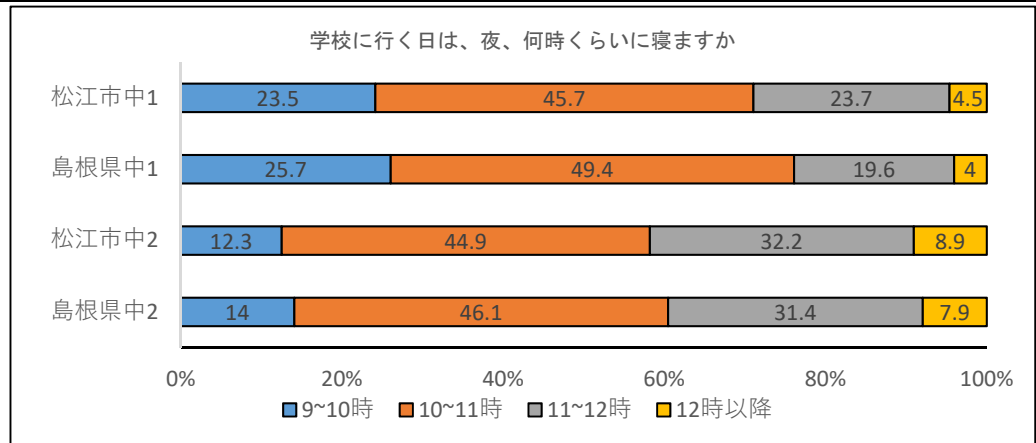


## 1 生活行動に関する質問から

・自分で計画を立てて勉強していると回答した生徒の割合が昨年度より大幅に高まった。



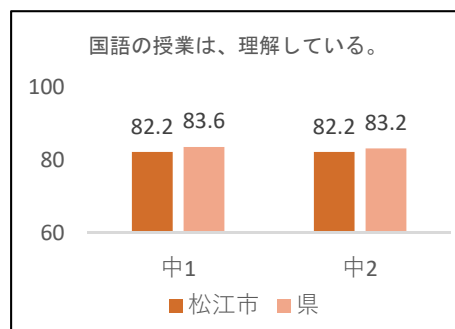
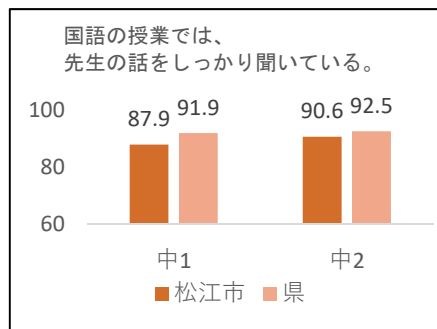
・平日の就寝時間が11時以降の生徒が、1年生では約3割、2年生では約4割となっている。適切な生活リズムと睡眠時間の確保についての指導を続けるとともに、家庭と連携した取組を行う必要がある。



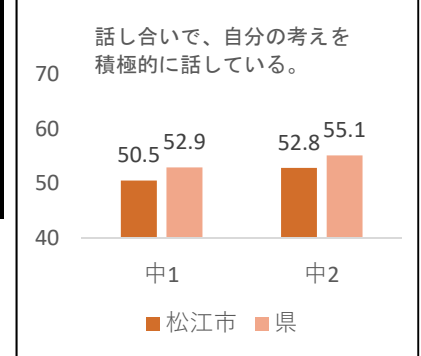
## 2 教科の学習活動に関する質問から

## ①国語

・授業態度や理解について、多くの生徒が肯定的な回答をしている。

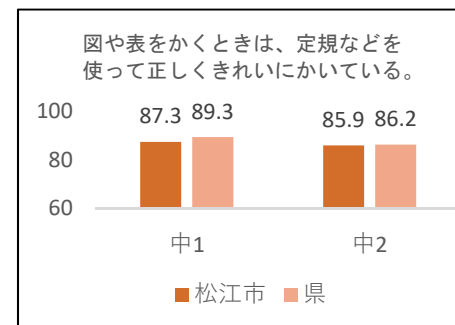
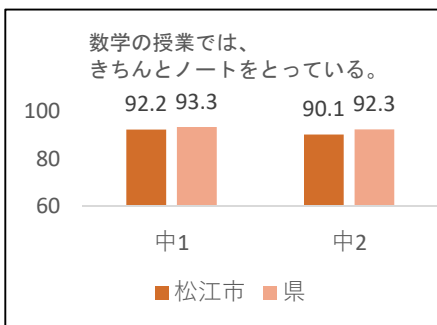


・対話的な学習場面を設定する際に、生徒が自分の思ったことや考えたことを進んで話したくなるような題材設定や指導方法について工夫する必要がある。

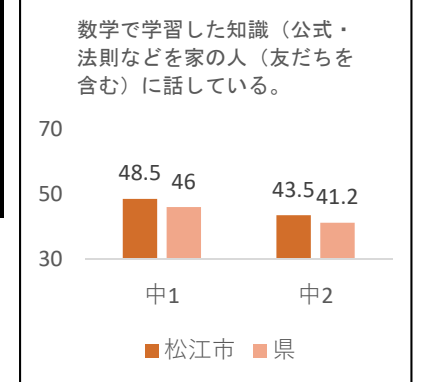


## ②数学

・授業で、ノートを丁寧にとっている生徒の割合が高い。

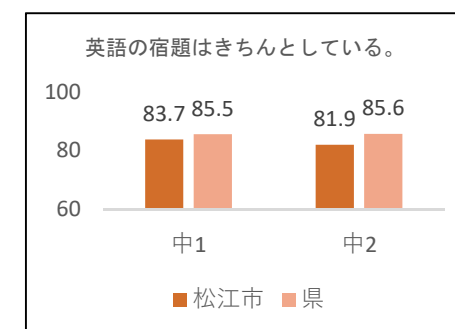
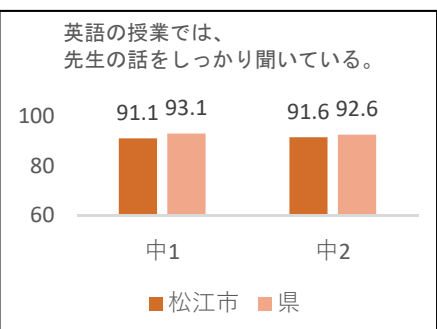


・数学で学習したことについて、家族や友達と話題にしたくなるような題材の設定や単元構成、授業の展開などについて工夫する必要がある。

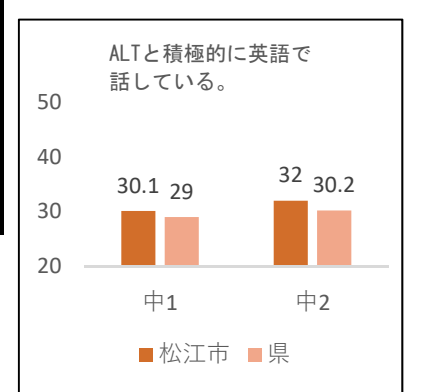


## ③英語

・授業態度や家庭学習について、多くの生徒が肯定的な回答をしている。

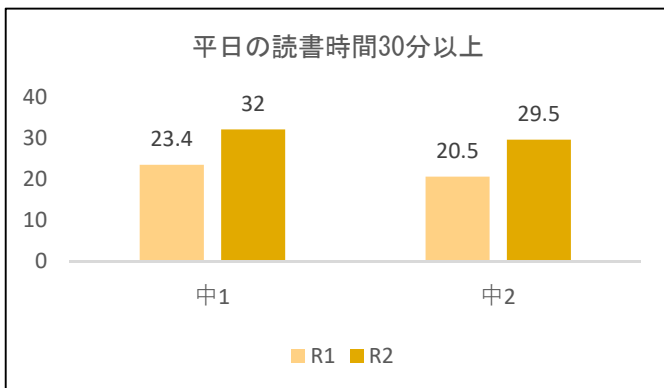


・ALTと積極的に会話できるような授業場面の工夫等により、生徒が主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養えるような授業づくりが求められる。

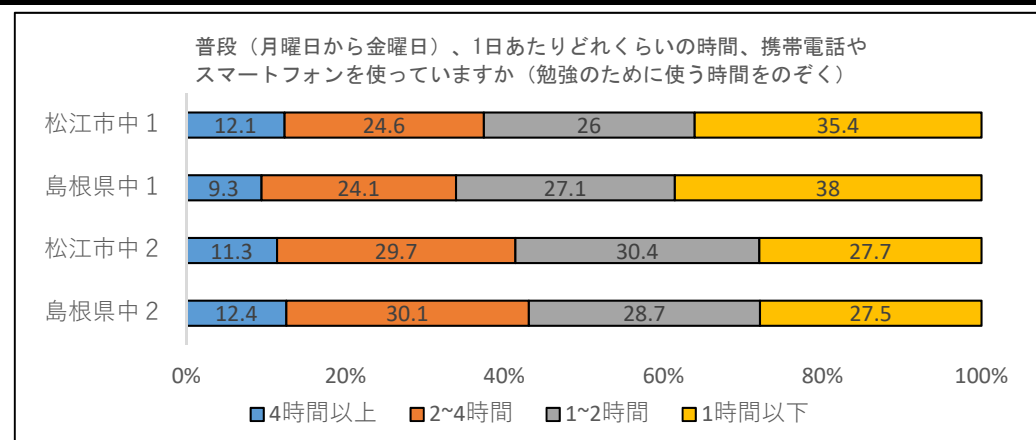


## 3 県独自の質問項目から

・平日に30分以上読書をする割合が昨年度より増加した。



・平日に携帯電話やスマートフォン等を学習以外で使用している時間が2時間を超える生徒が、1年生では35%を、2年生では40%をそれぞれ超えている。メディア接触に対する指導や啓発とともに、今まで以上に家庭と連携した取組を行う必要がある。



## 4 全体を通した現状や課題、今後の取組について

○本意識調査結果の分析をもとに、以下のような取組（☆）を行う。

・新学習指導要領に基づいた学びの確立 …「主体的・対話的で深い学び」が実現するような授業改善に向けた取組

☆学校訪問指導や教職員研修のさらなる充実  
☆地域の素材やICTを有効に活用した授業づくりへの支援

・電子メディア活用の工夫

…「1人1台端末」を用いた学習や家庭における適切なメディアとのかかわり方についての取組

☆各学校における端末利用と情報モラル教育の推進

・基本的な生活リズムの確立

☆家庭でのスマートフォン等の利用に際した家庭、学校、学園でのメディアルール作成

…「早寝・早起き・朝ごはん」を基本とし、子どもの健やかな心身の成長を目指す

☆家庭学習や部活動の在り方を見直し子どもの過重負担とならないような工夫、家庭との連携